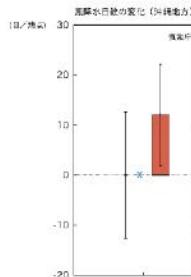
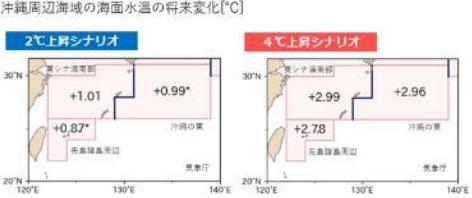


## 新旧対照表

(新) 改定版・素案(パブリックコメント用)	(旧) 現行計画
<p>1 ○沖縄地方では、無降水日(日降水量が1.0mm未満の日)の年間日数は、20世紀末に比べて、 2 21世紀末には4°C上昇シナリオで約12日増加すると予測されます。これは、大雨、短時間 3 強雨の増加傾向と併せて、地球温暖化の進行に伴って雨の降り方が極端になることを意味 4 しています。 5</p> <p>6 </p> <p>7 図3-1-19 沖縄地方における年間無降水日数の将来変化 8 9</p> <p>10 3) 海面水温の変化 11 ○21世紀末の沖縄近海の海面水温は、20世紀末と比べて、4°C上昇シナリオでは約3°C、2°C 12 上昇シナリオでは約1°C上昇すると予測されています。</p> <p>13 </p> <p>14 図3-1-20 沖縄周辺海域の海面水温の将来変化 15 16 4) 海面水位の変化 17 ○日本沿岸の平均海面水位の上昇の度合いは、20世紀末(ここでは1986~2005年平均)に 18 比べて、21世紀末(ここでは2081~2100年平均)には、4°C上昇シナリオ(SSP5-8.5)では 19 0.68m(0.56~0.88m)、2°C上昇シナリオ(SSP1-2.6)では0.40m(0.30~0.55m)と予測され 20 ます。()内は可能性の幅を示しています。 21 ○日本沿岸の海面水位上昇の予測には地域間で顕著な違いは見られません。 22</p>	

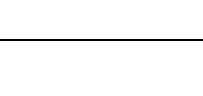
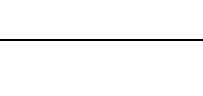
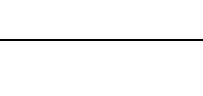
## 新旧対照表

(新) 改定版・素案(パブリックコメント用)	(旧) 現行計画
<p>1           <b>4. 適応策の推進方針</b></p> <p>2       現在、真夏日や熱帯夜の増加、短時間降雨量の増加、海水温・海平面の上昇、海洋酸性化など 3       気候変動の影響と思われる様々な観測結果が得られており、将来想定される大雨・短時間強雨と 4       無降水の増加による雨の降り方の極端化などの気象現象に対して、適切な備えと行動が求められ 5       ています。</p> <p>6       また、気候変動の影響については、各地域における自然的・社会的・経済的状況に応じてその 7       内容や規模も異なることから、国の適応計画で示された基本的な考え方を踏まえた上で、本県に 8       おける地域特性や気候情報等を的確に把握・整理し、着実に適応策を進めていくことが重要です。</p> <p>9       目指すべき将来像である「気候変動に適応できる社会」の実現に向けて、以下の方針に基づき取 10      り組みます。</p> <p>11</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;"><b>沖縄県 気候変動適応推進方針</b></p> <p><b>1. 各種施策における気候変動適応の組み込み</b> 県が実施する防災、農林水産業の振興、生物多様性の保全、その他に関連する全ての施策に気候変動適応の観点を組み込みます。また、事業者が作成する経営計画等にも気候変動に配慮するよう促していきます。</p> <p><b>2. 本県の実情に応じた適応策の推進</b> 日本で唯一の亜熱帯海洋性気候に育まれた独自の生態系や、160 の島々からなる島しょ県、台風常襲地域といった本県の持つ地域特性に鑑み、気候変動影響の現状及び将来予測について適切に収集・整理し、本県の実情に応じた適応策を推進します。</p> <p><b>3. 気候変動情報の行政・県民・事業者との共有</b> 将来起こりうる想定外の自然災害や気象現象に対して、生活を守る適切な行動が取れるよう、セミナーやイベントなどあらゆる機会を活用して気候変動情報を行政・県民・事業者間で広く共有します。</p> <p><b>4. 科学的知見の集約、提供</b> 気候変動及び適応策に関する様々な科学的知見を収集・発信し、情報の収集整理、分析及び提供並びに技術的助言を行う拠点として「沖縄県気候変動適応センター」を設置しました。収集した情報・分析結果等について国立環境研究所や気象台等の関係機関と連携し、最新情報の収集及び発信体制の構築を図ります。</p> <p>30</p> <p>31</p> <p>32</p> <p>33</p> <p>34</p> <p>35</p> <p>36</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> <div style="background-color: #ADD8E6; border-radius: 10px; padding: 10px; text-align: center; width: fit-content;"> <p><b>気候変動に適応できる社会</b></p> </div> <p>図3-1-21 沖縄県の気候変動適応推進方針</p> </div> <p>1           <b>4. 適応策の推進方針</b></p> <p>2       現在、真夏日や熱帯夜の増加、植物の開花時期の変化、海水温・海平面の上昇など気候変動の影響と思われる様々な観測結果が得られており、将来想定される強大な台風や観測記録を超える気象現象に対して、適切な備えと行動が求められています。</p> <p>3       また、気候変動の影響については、各地域における自然的・社会的・経済的状況に応じてその内容や規模も異なることから、国の適応計画で示された基本的な考え方を踏まえた上で、本県における地域特性や気候情報等を的確に把握・整理し、着実に適応策を進めていくことが重要です。</p> <p>4       目指すべき将来像である「気候変動に適応できる社会」の実現に向けて、以下の方針に基づき取り組みます。</p> <p>5</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;"><b>沖縄県 気候変動適応推進方針</b></p> <p><b>1. 各種施策における気候変動適応の組み込み</b> 県が実施する防災、農林水産業の振興、生物多様性の保全、その他に関連する全ての施策に気候変動適応の観点を組み込みます。また、事業者が作成する経営計画等にも気候変動に配慮するよう促していきます。</p> <p><b>2. 本県の実情に応じた適応策の推進</b> 日本で唯一の亜熱帯海洋性気候に育まれた独自の生態系や、160 の島々からなる島しょ県、台風常襲地域といった本県の持つ地域特性に鑑み、気候変動影響の現状及び将来予測について適切に収集・整理し、本県の実情に応じた適応策を推進します。</p> <p><b>3. 気候変動情報の行政・県民・事業者との共有</b> 将来起こりうる想定外の自然災害や気象現象に対して、生活を守る適切な行動が取れるよう、セミナーやイベントなどあらゆる機会を活用して気候変動情報を行政・県民・事業者間で広く共有します。</p> <p><b>4. 科学的知見の集約</b> 気候変動及び適応策に関する様々な科学的知見を収集し発信する、情報拠点の核となるような「気候変動適応センター」の設置を目指し、国立環境研究所や気象台等の関係機関と連携し、最新情報の収集及び発信体制の構築を図ります。</p> <p>6</p> <p>7</p> <p>8</p> <p>9</p> <p>10</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> <div style="background-color: #ADD8E6; border-radius: 10px; padding: 10px; text-align: center; width: fit-content;"> <p><b>気候変動に適応できる社会</b></p> </div> <p>11</p> <p>12</p> <p>13</p> <p>14</p> <p>15</p> <p>16</p> <p>17</p> <p>18</p> <p>19</p> <p>20</p> <p>21</p> <p>22</p> <p>23</p> <p>24</p> <p>25</p> <p>26</p> <p>27</p> <p>28</p> <p>29</p> <p>30</p> <p>31</p> <p>32</p> <p>33</p> <p>34</p> <p>35</p> <p>36</p> </div>	

## 新旧対照表

(新) 改定版・素案(パブリックコメント用)	(旧) 現行計画
<p>1 第2章 沖縄県における気候変動適応策</p> <p>2 1. 沖縄県における気候変動の影響及び適応策</p> <p>3 本県における気候変動の影響及び適応策項目の選定には、「気候変動影響評価報告書(環境省)」 (2020(令和2)年12月) 及び「気候変動適応計画(2023(令和5)年5月30日閣議決定(一部変更)(環境省)」による国の評価結果を参考としています。</p> <p>4 国の評価結果と本県で把握している情報を基に、本県における気候変動影響の整理及びその評 5 価を実施するため、国で整理されている「農業・林業・水産業」、「水環境・水資源」、「自然生態 6 系」、「自然災害・沿岸域」、「健康」、「産業・経済活動」、「国民生活・都市生活」の7分野に加え 7 て、本県における「基礎的施策」及び「普及啓発」の2分野から本県で取り組む項目を選定し、現 8 在の影響及び将来想定される影響と適応策について、体系的に整理しました。加えて、本県で既 9 に影響がでている細目や地域の特色等に着目し、本県での重要度を評価しています。</p> <p>10 また、本計画の推進においては、2015(平成27)年9月の国連サミットで採択された「持続可 11 能な開発のための2030アジェンダ」に掲げるSDGs(持続可能な開発目標)の理念と整合をはか 12 りながら進めることが重要です。</p> <p>13 特に、SDG13(気候変動に具体的な対策を)をはじめとして、各分野における適応策は、環境・ 14 社会・経済の調和を図る持続可能な地域づくりにも資するものであり、本計画ではSDGsとの関連 15 も併せて示しています。</p> <p>16 なお、適応策の推進にあたっては、例えば、河川改修工事においては環境配慮型工事を推進す 17 るなど地域環境や生態系に配慮し、SDGsに相反しない持続可能な取組が求められます。</p> <p>18</p> <p>19</p> <p>20</p> <p>21</p> <p>22</p> <p>23</p> <p>24</p> <p>25</p> <p>26</p> <p>27</p> <p>28</p> <p>29</p> <p>30</p> <p>31</p> <p>32</p> <p>33</p> <p>34</p> <p>35</p> <p>36</p> <p>37</p>  <p>図3-2-1 SDGsの17のゴール(目標)</p>	<p>第2章 沖縄県における気候変動適応策</p> <p>1. 沖縄県における気候変動の影響及び適応策</p> <p>本県における気候変動の影響及び適応策項目の選定には、「気候変動影響評価報告書(環境省)」(2020(令和2)年12月)による国の評価結果を参考としています。</p> <p>今回、国の評価結果と本県で把握している情報に基づき、本県における気候変動影響の整理及びその評価を実施するため、国で整理されている「農業・林業・水産業」、「水環境・水資源」、「自然生態系」、「自然災害・沿岸域」、「健康」、「産業・経済活動」、「国民生活・都市生活」の7分野に加えて、本県における「基礎的施策」及び「普及啓発」の2分野から本県で取り組む項目を選定し、現在の影響及び将来想定される影響と適応策について、体系的に整理しました。加えて、本県で既に影響がでている細目や地域の特色等に着目し、本県での重要度を評価しています。</p> <p>また、本計画の推進においては、2015(平成27)年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に示す国際目標であるSDGsの取組との相乗効果が期待されることから、ここでは、SDG13(気候変動に具体的な対策を)をはじめとして、各分野における適応策とSDGsとの関連も併せて示しています。</p> <p>なお、適応策の推進にあたっては、例えば、河川改修工事においては環境配慮型工事を推進するなど、SDGsに相反しないような取組が求められます。</p> <p>SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS</p>  <p>図3-2-1 SDGsの17のゴール(目標)</p>

## 新旧対照表

(新) 改定版・素案(パブリックコメント用)				(旧) 現行計画				
	表3-2-1 適応策の施策体系			表3-2-1 適応策の施策体系				
1	分野	項目	細目	<b>SDGs</b> 				
2	(1) 農業・ 林業・ 水産業	農業	水稻					
野菜等								
果樹								
畜産								
病害虫・雑草等								
林業		農業生産基盤						
		木材生産(人工林等)						
		特用林産物(きのこ類等)						
		回遊性魚介類(魚類等の生態)						
		増養殖等						
(2) 水環境・ 水資源	自然生態系	水環境	河川					
水資源			水供給(地表水)					
沿岸生態系			垂熱帯					
その他			生物季節					
			分布・個体群の変動(在来生物)					
		分布・個体群の変動(外来生物)						
		沿岸域の藻場生態系による水産資源の供給機能等						
		サンゴ礁によるEco-DRR(生態系を活用した防災・減災のこと)機能等						
		(4) 自然災害・ 沿岸域	(3) 自然生態系	河川				
		洪水・内水						
	海面水位の上昇							
	高潮・高波							
	海岸侵食							
	山地	土石流・地すべり等						
	その他	強風等						
	(5) 健康	(4) 自然災害・ 沿岸域	暑熱					
	感染症		死亡リスク等					
	熱中症		熱中症等					
	(6) 産業・ 経済活動	(5) 健康	感染症	節約動物媒介感染症				
	観光業		脆弱性が高いと思われる高齢者等への影響					
	建設業		熱中症					
	(7) 国民生活・ 都市生活	(6) 産業・ 経済活動	都市インフラ・ライフライン等					
	文化・歴史などを感じる暮らし		生物季節					
	その他		暑熱による生活への影響等					
	(8) 基盤的施策	(7) 国民生活・ 都市生活	基盤的施策	地方公共団体の気候変動適応に関する施策の促進				
			環境影響評価制度の推進					
	(9) 普及啓発							
	水資源	水供給(地表水)						
	自然生態系	分布・個体群の変動(外来生物)						
	自然災害等	洪水・内水						
	沿岸	高潮・高波						
	山地	土石流・地すべり等						
	暑熱	熱中症等						
	その他	暑熱による生活への影響等						

## 新旧対照表

(新) 改定版・素案(パブリックコメント用)		(旧) 現行計画																
1 【国の評価結果の凡例、重大性・緊急性・確信度の評価の考え方】		【国の評価結果の凡例、重大性・緊急性・確信度の評価の考え方】																
<p>気候変動適応計画（令和5年5月30日閣議決定（一部変更）（環境省）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center; padding: 5px;">凡 例</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="padding: 5px;">【重大性（2°C上昇）※】 ●：特に重大な影響が認められる &gt; ◇：影響が認められる (上段に表示) 一：現状では評価できない</td></tr> <tr> <td colspan="3" style="padding: 5px;">【重大性（4°C上昇）※】 ●：特に重大な影響が認められる &gt; ◇：影響が認められる (下段に表示) 一：現状では評価できない</td></tr> <tr> <td colspan="3" style="padding: 5px;">【緊急性、確信度】 ●：高い &gt; ▲：中程度 &gt; ■：低い 一：現状では評価できない</td></tr> <tr> <td colspan="3" style="padding: 5px;">※重大性を上段、下段で区分した評価結果：(上段) RCP2.6により2100年で2°C上昇 :(下段) RCP8.5により2100年で4°C上昇</td></tr> </tbody> </table>		凡 例			【重大性（2°C上昇）※】 ●：特に重大な影響が認められる > ◇：影響が認められる (上段に表示) 一：現状では評価できない			【重大性（4°C上昇）※】 ●：特に重大な影響が認められる > ◇：影響が認められる (下段に表示) 一：現状では評価できない			【緊急性、確信度】 ●：高い > ▲：中程度 > ■：低い 一：現状では評価できない			※重大性を上段、下段で区分した評価結果：(上段) RCP2.6により2100年で2°C上昇 :(下段) RCP8.5により2100年で4°C上昇				
凡 例																		
【重大性（2°C上昇）※】 ●：特に重大な影響が認められる > ◇：影響が認められる (上段に表示) 一：現状では評価できない																		
【重大性（4°C上昇）※】 ●：特に重大な影響が認められる > ◇：影響が認められる (下段に表示) 一：現状では評価できない																		
【緊急性、確信度】 ●：高い > ▲：中程度 > ■：低い 一：現状では評価できない																		
※重大性を上段、下段で区分した評価結果：(上段) RCP2.6により2100年で2°C上昇 :(下段) RCP8.5により2100年で4°C上昇																		
<p>2 【RCP (Representative Concentration Pathways) とは】</p> <p>人間活動に伴う温室効果ガス等の大気中の濃度が、将来どの程度になるかを想定したものをお「排出シナリオ」と呼んでいます。現在では、主にRCP（代表的濃度経路）シナリオと呼ばれる排出シナリオが、国際的に共通して用いられ、RCP2.6、RCP4.5、RCP6.0、RCP8.5があります。RCPに続く数値は、その値が大きいほど2100年までの温室効果ガス排出が多いことを意味します。 (数値は、地球の放射エネルギー収支の1750年を基準とする変化量を表しています。単位はW/m<sup>2</sup>。)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center; padding: 5px;">重大性の評価の考え方</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="padding: 5px;">①影響の程度（エリア・期間）、②影響が発生する可能性、③影響の不可逆性（元の状態にすることの困難さ）、④当該影響に対する持続的な脆弱性・曝露の規模の4項目をもとに、社会、経済、環境の観点で重大性を判断。</td></tr> </tbody> </table>		重大性の評価の考え方			①影響の程度（エリア・期間）、②影響が発生する可能性、③影響の不可逆性（元の状態にすることの困難さ）、④当該影響に対する持続的な脆弱性・曝露の規模の4項目をもとに、社会、経済、環境の観点で重大性を判断。													
重大性の評価の考え方																		
①影響の程度（エリア・期間）、②影響が発生する可能性、③影響の不可逆性（元の状態にすることの困難さ）、④当該影響に対する持続的な脆弱性・曝露の規模の4項目をもとに、社会、経済、環境の観点で重大性を判断。																		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center; padding: 5px;">評価の尺度</th> <th rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle; padding: 5px;">最終評価の示し方</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">評価の観点</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">緊急性は高い</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">緊急性は中程度</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">緊急性は低い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">1. 影響の発現時期</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">既に影響が生じている。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">影響が生じるのは21世紀中頃より先の可能性が高い。 また、不確実性が極めて大きい。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">1及び2の双方の観点からの検討を勘案し、小項目ごとに緊急性を3段階で示す。9</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">できるだけ早く意思決定が必要である。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">概ね10年以内（2030年頃より前）に重大な意思決定が必要である。 概ね10年以内（2030年頃より前）に重大な意思決定を行いう必要性は低い。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> </tr> </tbody> </table>		評価の尺度				最終評価の示し方	評価の観点	緊急性は高い	緊急性は中程度	緊急性は低い	1. 影響の発現時期	既に影響が生じている。	影響が生じるのは21世紀中頃より先の可能性が高い。 また、不確実性が極めて大きい。	1及び2の双方の観点からの検討を勘案し、小項目ごとに緊急性を3段階で示す。9	2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期	できるだけ早く意思決定が必要である。	概ね10年以内（2030年頃より前）に重大な意思決定が必要である。 概ね10年以内（2030年頃より前）に重大な意思決定を行いう必要性は低い。	
評価の尺度				最終評価の示し方														
評価の観点	緊急性は高い	緊急性は中程度	緊急性は低い															
1. 影響の発現時期	既に影響が生じている。	影響が生じるのは21世紀中頃より先の可能性が高い。 また、不確実性が極めて大きい。	1及び2の双方の観点からの検討を勘案し、小項目ごとに緊急性を3段階で示す。9															
2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期	できるだけ早く意思決定が必要である。	概ね10年以内（2030年頃より前）に重大な意思決定が必要である。 概ね10年以内（2030年頃より前）に重大な意思決定を行いう必要性は低い。																
<p>3 【緊急性の評価の考え方】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center; padding: 5px;">評価の尺度</th> <th rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle; padding: 5px;">最終評価の示し方</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">評価の観点</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">緊急性は高い</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">緊急性は中程度</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">緊急性は低い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">1. 影響の発現時期</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">既に影響が生じている。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">影響が生じるのは21世紀中頃より先の可能性が高い。 また、不確実性が極めて大きい。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">影響が生じるのは21世紀中頃より先の可能性が高い。 また、不確実性が極めて大きい。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">できるだけ早く意思決定が必要である。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">概ね10年以内（2030年頃より前）に重大な意思決定が必要である。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">概ね10年以内（2030年頃より前）に重大な意思決定を行う必要性は低い。</td> </tr> </tbody> </table>		評価の尺度				最終評価の示し方	評価の観点	緊急性は高い	緊急性は中程度	緊急性は低い	1. 影響の発現時期	既に影響が生じている。	影響が生じるのは21世紀中頃より先の可能性が高い。 また、不確実性が極めて大きい。	影響が生じるのは21世紀中頃より先の可能性が高い。 また、不確実性が極めて大きい。	2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期	できるだけ早く意思決定が必要である。	概ね10年以内（2030年頃より前）に重大な意思決定が必要である。	概ね10年以内（2030年頃より前）に重大な意思決定を行う必要性は低い。
評価の尺度				最終評価の示し方														
評価の観点	緊急性は高い	緊急性は中程度	緊急性は低い															
1. 影響の発現時期	既に影響が生じている。	影響が生じるのは21世紀中頃より先の可能性が高い。 また、不確実性が極めて大きい。	影響が生じるのは21世紀中頃より先の可能性が高い。 また、不確実性が極めて大きい。															
2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期	できるだけ早く意思決定が必要である。	概ね10年以内（2030年頃より前）に重大な意思決定が必要である。	概ね10年以内（2030年頃より前）に重大な意思決定を行う必要性は低い。															
<p>4 【確信度の評価の考え方】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center; padding: 5px;">評価の段階（考え方）</th> <th rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle; padding: 5px;">最終評価の示し方</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">評価の観点</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">確信度は高い</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">確信度は中程度</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">確信度は低い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の評価</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">○研究・報告の見解の一貫性</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに確信度を3段階で示す。12</td> </tr> </tbody> </table>		評価の段階（考え方）				最終評価の示し方	評価の観点	確信度は高い	確信度は中程度	確信度は低い	IPCCの確信度の評価	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。	○研究・報告の見解の一貫性			IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに確信度を3段階で示す。12
評価の段階（考え方）				最終評価の示し方														
評価の観点	確信度は高い	確信度は中程度	確信度は低い															
IPCCの確信度の評価	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。															
○研究・報告の見解の一貫性			IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに確信度を3段階で示す。12															
<p>5 【緊急性の評価の考え方】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center; padding: 5px;">評価の尺度</th> <th rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle; padding: 5px;">最終評価の示し方</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">評価の観点</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">確信度は高い</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">確信度は中程度</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">確信度は低い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">1. 影響の発現時期</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">○研究・報告の見解の一貫性</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに確信度を3段階で示す。</td> </tr> </tbody> </table>		評価の尺度				最終評価の示し方	評価の観点	確信度は高い	確信度は中程度	確信度は低い	1. 影響の発現時期	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。	2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期	○研究・報告の見解の一貫性		IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに確信度を3段階で示す。
評価の尺度				最終評価の示し方														
評価の観点	確信度は高い	確信度は中程度	確信度は低い															
1. 影響の発現時期	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。															
2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期	○研究・報告の見解の一貫性		IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに確信度を3段階で示す。															
<p>6 【確信度の評価の考え方】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center; padding: 5px;">評価の段階（考え方）</th> <th rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle; padding: 5px;">最終評価の示し方</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">評価の観点</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">確信度は高い</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">確信度は中程度</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">確信度は低い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の評価</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">○研究・報告の見解の一貫性</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに確信度を3段階で示す。</td> </tr> </tbody> </table>		評価の段階（考え方）				最終評価の示し方	評価の観点	確信度は高い	確信度は中程度	確信度は低い	IPCCの確信度の評価	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。	○研究・報告の見解の一貫性			IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに確信度を3段階で示す。
評価の段階（考え方）				最終評価の示し方														
評価の観点	確信度は高い	確信度は中程度	確信度は低い															
IPCCの確信度の評価	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。															
○研究・報告の見解の一貫性			IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに確信度を3段階で示す。															
<p>7 【緊急性の評価の考え方】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center; padding: 5px;">評価の尺度</th> <th rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle; padding: 5px;">最終評価の示し方</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">評価の観点</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">緊急性は高い</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">緊急性は中程度</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">緊急性は低い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">1. 影響の発現時期</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">○研究・報告の見解の一貫性</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに緊急性を3段階で示す。</td> </tr> </tbody> </table>		評価の尺度				最終評価の示し方	評価の観点	緊急性は高い	緊急性は中程度	緊急性は低い	1. 影響の発現時期	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。	2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期	○研究・報告の見解の一貫性		IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに緊急性を3段階で示す。
評価の尺度				最終評価の示し方														
評価の観点	緊急性は高い	緊急性は中程度	緊急性は低い															
1. 影響の発現時期	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。															
2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期	○研究・報告の見解の一貫性		IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに緊急性を3段階で示す。															
<p>8 【確信度の評価の考え方】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center; padding: 5px;">評価の段階（考え方）</th> <th rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle; padding: 5px;">最終評価の示し方</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">評価の観点</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">確信度は高い</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">確信度は中程度</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">確信度は低い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の評価</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">○研究・報告の見解の一貫性</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに確信度を3段階で示す。</td> </tr> </tbody> </table>		評価の段階（考え方）				最終評価の示し方	評価の観点	確信度は高い	確信度は中程度	確信度は低い	IPCCの確信度の評価	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。	○研究・報告の見解の一貫性			IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに確信度を3段階で示す。
評価の段階（考え方）				最終評価の示し方														
評価の観点	確信度は高い	確信度は中程度	確信度は低い															
IPCCの確信度の評価	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。															
○研究・報告の見解の一貫性			IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに確信度を3段階で示す。															
<p>9 【緊急性の評価の考え方】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center; padding: 5px;">評価の尺度</th> <th rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle; padding: 5px;">最終評価の示し方</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">評価の観点</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">緊急性は高い</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">緊急性は中程度</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">緊急性は低い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">1. 影響の発現時期</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">○研究・報告の見解の一貫性</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに緊急性を3段階で示す。</td> </tr> </tbody> </table>		評価の尺度				最終評価の示し方	評価の観点	緊急性は高い	緊急性は中程度	緊急性は低い	1. 影響の発現時期	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。	2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期	○研究・報告の見解の一貫性		IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに緊急性を3段階で示す。
評価の尺度				最終評価の示し方														
評価の観点	緊急性は高い	緊急性は中程度	緊急性は低い															
1. 影響の発現時期	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。															
2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期	○研究・報告の見解の一貫性		IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに緊急性を3段階で示す。															
<p>10 【確信度の評価の考え方】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center; padding: 5px;">評価の段階（考え方）</th> <th rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle; padding: 5px;">最終評価の示し方</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">評価の観点</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">確信度は高い</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">確信度は中程度</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">確信度は低い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の評価</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">○研究・報告の見解の一貫性</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに確信度を3段階で示す。</td> </tr> </tbody> </table>		評価の段階（考え方）				最終評価の示し方	評価の観点	確信度は高い	確信度は中程度	確信度は低い	IPCCの確信度の評価	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。	○研究・報告の見解の一貫性			IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに確信度を3段階で示す。
評価の段階（考え方）				最終評価の示し方														
評価の観点	確信度は高い	確信度は中程度	確信度は低い															
IPCCの確信度の評価	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。															
○研究・報告の見解の一貫性			IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに確信度を3段階で示す。															
<p>11 【緊急性の評価の考え方】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center; padding: 5px;">評価の尺度</th> <th rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle; padding: 5px;">最終評価の示し方</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">評価の観点</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">緊急性は高い</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">緊急性は中程度</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">緊急性は低い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">1. 影響の発現時期</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">○研究・報告の見解の一貫性</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに緊急性を3段階で示す。</td> </tr> </tbody> </table>		評価の尺度				最終評価の示し方	評価の観点	緊急性は高い	緊急性は中程度	緊急性は低い	1. 影響の発現時期	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。	2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期	○研究・報告の見解の一貫性		IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに緊急性を3段階で示す。
評価の尺度				最終評価の示し方														
評価の観点	緊急性は高い	緊急性は中程度	緊急性は低い															
1. 影響の発現時期	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。															
2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期	○研究・報告の見解の一貫性		IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに緊急性を3段階で示す。															
<p>12 【確信度の評価の考え方】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center; padding: 5px;">評価の段階（考え方）</th> <th rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle; padding: 5px;">最終評価の示し方</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">評価の観点</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">確信度は高い</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">確信度は中程度</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">確信度は低い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の評価</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">○研究・報告の見解の一貫性</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに確信度を3段階で示す。</td> </tr> </tbody> </table>		評価の段階（考え方）				最終評価の示し方	評価の観点	確信度は高い	確信度は中程度	確信度は低い	IPCCの確信度の評価	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。	○研究・報告の見解の一貫性			IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに確信度を3段階で示す。
評価の段階（考え方）				最終評価の示し方														
評価の観点	確信度は高い	確信度は中程度	確信度は低い															
IPCCの確信度の評価	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。															
○研究・報告の見解の一貫性			IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに確信度を3段階で示す。															
<p>13 【緊急性の評価の考え方】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center; padding: 5px;">評価の尺度</th> <th rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle; padding: 5px;">最終評価の示し方</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">評価の観点</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">緊急性は高い</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">緊急性は中程度</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">緊急性は低い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">1. 影響の発現時期</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">○研究・報告の見解の一貫性</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに緊急性を3段階で示す。</td> </tr> </tbody> </table>		評価の尺度				最終評価の示し方	評価の観点	緊急性は高い	緊急性は中程度	緊急性は低い	1. 影響の発現時期	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。	2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期	○研究・報告の見解の一貫性		IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに緊急性を3段階で示す。
評価の尺度				最終評価の示し方														
評価の観点	緊急性は高い	緊急性は中程度	緊急性は低い															
1. 影響の発現時期	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。															
2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期	○研究・報告の見解の一貫性		IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに緊急性を3段階で示す。															
<p>14 【確信度の評価の考え方】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center; padding: 5px;">評価の段階（考え方）</th> <th rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle; padding: 5px;">最終評価の示し方</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">評価の観点</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">確信度は高い</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">確信度は中程度</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">確信度は低い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の評価</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">○研究・報告の見解の一貫性</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに確信度を3段階で示す。</td> </tr> </tbody> </table>		評価の段階（考え方）				最終評価の示し方	評価の観点	確信度は高い	確信度は中程度	確信度は低い	IPCCの確信度の評価	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。	○研究・報告の見解の一貫性			IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに確信度を3段階で示す。
評価の段階（考え方）				最終評価の示し方														
評価の観点	確信度は高い	確信度は中程度	確信度は低い															
IPCCの確信度の評価	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。															
○研究・報告の見解の一貫性			IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに確信度を3段階で示す。															
<p>15 【緊急性の評価の考え方】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center; padding: 5px;">評価の尺度</th> <th rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle; padding: 5px;">最終評価の示し方</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">評価の観点</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">緊急性は高い</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">緊急性は中程度</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">緊急性は低い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">1. 影響の発現時期</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">○研究・報告の見解の一貫性</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに緊急性を3段階で示す。</td> </tr> </tbody> </table>		評価の尺度				最終評価の示し方	評価の観点	緊急性は高い	緊急性は中程度	緊急性は低い	1. 影響の発現時期	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。	2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期	○研究・報告の見解の一貫性		IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに緊急性を3段階で示す。
評価の尺度				最終評価の示し方														
評価の観点	緊急性は高い	緊急性は中程度	緊急性は低い															
1. 影響の発現時期	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。															
2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期	○研究・報告の見解の一貫性		IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに緊急性を3段階で示す。															
<p>16 【確信度の評価の考え方】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center; padding: 5px;">評価の段階（考え方）</th> <th rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle; padding: 5px;">最終評価の示し方</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">評価の観点</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">確信度は高い</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">確信度は中程度</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">確信度は低い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の評価</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">○研究・報告の見解の一貫性</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに確信度を3段階で示す。</td> </tr> </tbody> </table>		評価の段階（考え方）				最終評価の示し方	評価の観点	確信度は高い	確信度は中程度	確信度は低い	IPCCの確信度の評価	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。	○研究・報告の見解の一貫性			IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに確信度を3段階で示す。
評価の段階（考え方）				最終評価の示し方														
評価の観点	確信度は高い	確信度は中程度	確信度は低い															
IPCCの確信度の評価	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。															
○研究・報告の見解の一貫性			IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに確信度を3段階で示す。															
<p>17 【緊急性の評価の考え方】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center; padding: 5px;">評価の尺度</th> <th rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle; padding: 5px;">最終評価の示し方</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">評価の観点</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">緊急性は高い</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">緊急性は中程度</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">緊急性は低い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">1. 影響の発現時期</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">○研究・報告の見解の一貫性</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに緊急性を3段階で示す。</td> </tr> </tbody> </table>		評価の尺度				最終評価の示し方	評価の観点	緊急性は高い	緊急性は中程度	緊急性は低い	1. 影響の発現時期	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。	2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期	○研究・報告の見解の一貫性		IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに緊急性を3段階で示す。
評価の尺度				最終評価の示し方														
評価の観点	緊急性は高い	緊急性は中程度	緊急性は低い															
1. 影響の発現時期	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。															
2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期	○研究・報告の見解の一貫性		IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに緊急性を3段階で示す。															
<p>18 【確信度の評価の考え方】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center; padding: 5px;">評価の段階（考え方）</th> <th rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle; padding: 5px;">最終評価の示し方</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">評価の観点</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">確信度は高い</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">確信度は中程度</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">確信度は低い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の評価</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">○研究・報告の見解の一貫性</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに確信度を3段階で示す。</td> </tr> </tbody> </table>		評価の段階（考え方）				最終評価の示し方	評価の観点	確信度は高い	確信度は中程度	確信度は低い	IPCCの確信度の評価	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。	○研究・報告の見解の一貫性			IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに確信度を3段階で示す。
評価の段階（考え方）				最終評価の示し方														
評価の観点	確信度は高い	確信度は中程度	確信度は低い															
IPCCの確信度の評価	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。															
○研究・報告の見解の一貫性			IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに確信度を3段階で示す。															
<p>19 【緊急性の評価の考え方】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center; padding: 5px;">評価の尺度</th> <th rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle; padding: 5px;">最終評価の示し方</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">評価の観点</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">緊急性は高い</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">緊急性は中程度</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">緊急性は低い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">1. 影響の発現時期</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">○研究・報告の見解の一貫性</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに緊急性を3段階で示す。</td> </tr> </tbody> </table>		評価の尺度				最終評価の示し方	評価の観点	緊急性は高い	緊急性は中程度	緊急性は低い	1. 影響の発現時期	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。	2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期	○研究・報告の見解の一貫性		IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに緊急性を3段階で示す。
評価の尺度				最終評価の示し方														
評価の観点	緊急性は高い	緊急性は中程度	緊急性は低い															
1. 影響の発現時期	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。															
2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期	○研究・報告の見解の一貫性		IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに緊急性を3段階で示す。															
<p>20 【確信度の評価の考え方】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center; padding: 5px;">評価の段階（考え方）</th> <th rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle; padding: 5px;">最終評価の示し方</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">評価の観点</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">確信度は高い</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">確信度は中程度</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">確信度は低い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の評価</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">○研究・報告の見解の一貫性</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに確信度を3段階で示す。</td> </tr> </tbody> </table>		評価の段階（考え方）				最終評価の示し方	評価の観点	確信度は高い	確信度は中程度	確信度は低い	IPCCの確信度の評価	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。	○研究・報告の見解の一貫性			IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに確信度を3段階で示す。
評価の段階（考え方）				最終評価の示し方														
評価の観点	確信度は高い	確信度は中程度	確信度は低い															
IPCCの確信度の評価	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。															
○研究・報告の見解の一貫性			IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに確信度を3段階で示す。															
<p>21 【緊急性の評価の考え方】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center; padding: 5px;">評価の尺度</th> <th rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle; padding: 5px;">最終評価の示し方</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">評価の観点</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">緊急性は高い</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">緊急性は中程度</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">緊急性は低い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">1. 影響の発現時期</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">○研究・報告の見解の一貫性</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに緊急性を3段階で示す。</td> </tr> </tbody> </table>		評価の尺度				最終評価の示し方	評価の観点	緊急性は高い	緊急性は中程度	緊急性は低い	1. 影響の発現時期	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。	2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期	○研究・報告の見解の一貫性		IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに緊急性を3段階で示す。
評価の尺度				最終評価の示し方														
評価の観点	緊急性は高い	緊急性は中程度	緊急性は低い															
1. 影響の発現時期	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。															
2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期	○研究・報告の見解の一貫性		IPCCの確信度を使用し、小項目ごとに緊急性を3段階で示す。															
<p>22 【確信度の評価の考え方】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center; padding: 5px;">評価の段階（考え方）</th> <th rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle; padding: 5px;">最終評価の示し方</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">評価の観点</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">確信度は高い</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">確信度は中程度</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">確信度は低い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の評価</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">○研究・報告の見解の一貫性</td> &lt;td style="text-align:</tr></tbody></table>	評価の段階（考え方）				最終評価の示し方	評価の観点	確信度は高い	確信度は中程度	確信度は低い	IPCCの確信度の評価	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。	○研究・報告の見解の一貫性				
評価の段階（考え方）				最終評価の示し方														
評価の観点	確信度は高い	確信度は中程度	確信度は低い															
IPCCの確信度の評価	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。															
○研究・報告の見解の一貫性																		

## 新旧対照表

(新) 改定版・素案(パブリックコメント用)					(旧) 現行計画					
<p><b>(1) 農業・林業・水産業</b></p> <p>本県では温暖な気候を活かしたマンゴー栽培などの農業やモズク養殖などの水産業が盛んに行われている中で、気候変動による自然環境の変化に伴う農林水産業への影響・被害、栽培適地の変化に伴う产地競合が懸念されています。今後、気温の上昇又は自然災害の強大化に対し、農作物の高温耐性品種の導入や、環境変化に対応した水産養殖技術開発など、農林水産資源を守るための適応策を展開します。</p>										
<p style="text-align: center;"><b>農業</b></p>	<p>項目</p> <p>細目</p>	因による影響評価(過去計画)		<p>県の重要度</p> <p>重大性: ● 重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ●</p> <p>○</p>	本県における現在の影響及び将来想定される影響		本県における適応策			
		<p>【将来の影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気温上昇の度合いによっては、栽培品種を変更する影響の可能性がある。</li> <li>・将来の降水パターンの変化は、出荷期の冠水による米の減収率が高くなり、整粒率が低くなる恐れがある。</li> <li>・高温による品質の低下(白米糊状の発生、調理時の発生、一等米比率の低下等)等の問題が懸念される。</li> <li>・極端な高温時には収量の減少も見られる恐れがある。</li> </ul>			<p>・気温の上昇を含めた、地域適応性の高い品種・系統の選抜に取り組む。</p>					
		<p>【現在の影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・露地野菜では、高温による生育不良、生垣障害や病害虫の多発及び多雨による種え付けの遅れ等が報告されている。</li> <li>・施設野菜では、高温による若葉不良、生育不良等が報告されている。</li> <li>・花きでは、ギクなどで夏期の高温による苗の生育不良や、冬期初霜までの害虫の高密度化等が報告されている。</li> </ul>			<p>・作付け品種の高温耐性品種の導入に取り組む。</p> <p>・台風等の自然災害にも対応する強化型耐候性施設を導入し、施設内高温対策の整備を推進・支援する。</p> <p>・農家に対し高温対策として、かん水や造形の指導を行うとともに、啓発対策に際する展示を設置し、技術の普及を図る。</p> <p>・サトウキビの生育が旺盛な時期である梅雨明け後は降水量が少ない時期にあたるため、開園機関及び生産者に対し、適期かん水の実施に取り組むよう周知活動を行う。</p>					
		<p>【将来の影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な品種選択を行うことで、栽培そのものの不可能性は低いと想定されるものの、さらなる気候変動が、野菜等の計画的な生産・出荷を困難にする可能性がある。</li> <li>・サトウキビでは、生育が旺盛な時期に干ばつが発生すると生育が停滞し、収量の減少が見られる恐れがある。</li> </ul>			<p>・気温上昇などにより家畜(牛、豚、鶏等)の生産能力、繁殖機能の低下が予測されています。</p>					
		<p>【現在の影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マンゴーでは、果実肥大期における果皮褐変による日焼け果の問題がある。</li> <li>・バインアップルでは収穫期の梨果や花芽誘導処理効果が低減する等の問題がある。</li> </ul>			<p>・気候変動に対応した果樹優良品種の開発、安定生産技術の開拓に取り組む。</p> <p>・台風等の自然災害にも対応する強化型耐候性施設を導入し、施設内高温対策の整備を推進・支援する。</p>					
	<p>果樹</p> <p>野菜等</p> <p>農業</p> <p>果樹</p>	<p>項目</p> <p>細目</p>	因による影響評価(2020年)		<p>県の重要度</p> <p>重大性: ● 重大性: ○ 緊急性: ● 確信度: ●</p> <p>○</p>	本県における現在の影響及び将来想定される影響		本県における適応策		
			<p>【将来の影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な品種選択を行うことで、栽培そのものの不可能性は低いと想定されるものの、さらなる気候変動が、野菜等の計画的な生産・出荷を困難にする可能性があります。</li> </ul>			<p>・地域適応性に対応した品種選定をするため、奨励品種の栽培試験に取り組みます。</p>				
			<p>【現在の影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な品種選択を行うことで、栽培そのものが不可能になる可能性は低いと想定されるものの、さらなる気候変動が、野菜等の計画的な生産・出荷を困難にする可能性があります。</li> </ul>			<p>・作付け品種の高温耐性品種の導入に取り組みます。</p>				
			<p>【将来の影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・台風等の自然災害にも対応する強化型耐候性施設を導入し、施設内高温対策の整備を推進・支援します。</li> </ul>			<p>・台風等の自然災害にも対応する強化型耐候性施設を導入し、施設内高温対策の整備を推進・支援します。</p>				
			<p>【現在の影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マンゴーは秋冬期の高温により着花着果の不良が発生することが予測されています。</li> <li>・バインアップルは、気温の上昇により想定以上に収穫期が早まることが予測されています。</li> </ul>			<p>・マンゴーは秋冬期の高温により着花着果の不良が発生することが予測されています。</p> <p>・バインアップルは、気温の上昇により想定以上に収穫期が早まることが予測されています。</p>				
<p><b>(1) 農業・林業・水産業</b></p> <p>本県では温暖な気候を活かしたマンゴー栽培などの農業やモズク養殖などの水産業が盛んに行われている中で、気候変動による自然環境の変化に伴う農林水産業への影響・被害、栽培適地の変化に伴う产地競合が懸念されています。今後、気温の上昇又は自然災害の強大化に対して、農作物の高温耐性品種の導入や、環境変化に対応した水産養殖技術開発など、農林水産資源を守るために適応策を展開します。</p>										
<p>(その1)</p>										
<p><b>※青字:県で実施は実施していないが、国の影響評価及び適応計画を基に重要なと思われる細目について参考に記載</b></p>										
<p>※○:本県において施策が実施されている細目</p>										
<p>※◎:本県において施策が実施されており、特に重要と考えられる細目</p>										
<p>※1植生:ある地塊に集まって生育している植物の集団</p>										
<p>※2水路:背後地からの水を遮断し、区域外に流出させずに排水するための水路</p>										

## 新旧対照表

(新) 改定版・素案(パブリックコメント用)					(旧) 現行計画						
項目	細目	国による影響評価(適応計画)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策	項目	細目	国による影響評価(2020年)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策
1	畜産	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ▲	⑥	<p>【現在の影響】 気温上昇などにより家畜(牛、豚、鳥等)の生産能力、繁殖能の低下がみられる。</p> <p>【将来の影響】 気温上昇などにより家畜の伝染病の流行状況や流行期間の拡大等が想定されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>畜舎内の散水・除草や換気。屋根の遮熱化・板木等の暑熱対策の普及、密閉型(高密度飼育)の回避の指導等に取り組む。</li> <li>家畜伝染病に係る防護対策指導等に取り組む。</li> </ul>	木材生産(人工林等)	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ▲	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>マツ枯れの危険域が拡大することが懸念されています。</li> <li>気温の上昇は、害虫の分布の拡大や害虫の発生世代数の増加を生じさせ、人工林への被害が拡大する可能性があります。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>マツ枯れ被害の蔓延を防止するため、マツノマダラカミキリに対する薬剤散布や、マツノザイセンチュウに対する樹幹注入などの予防と被害木の駆除に取り組みます。</li> </ul>
2	病害虫・雜草等	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ●	⑥	<p>【将来の影響】 高温による一部の病害虫の発生増加や長期化するなど、気温上昇による被害拡大の影響が指摘されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>診断方法や既存防除技術を取りまとめた診断・防除マニュアル作成に取り組む。</li> <li>病害虫のリスク評価や調査法の改善及び定期防除技術の開発・高度化に取り組む。</li> <li>病害虫・風が害に強い抵抗品種の育成及び栽培技術による防災営農の確立に努める。</li> </ul>	特用林産物(きのこ類等)	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ▲	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来、原木栽培を実施した場合は、シイタケ栽培に及ぼすヒボクレア属菌による被害が大きくなる可能性があります。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>本県の気候に適したアラゲキクラゲの品種登録に向け、種菌の選別、研究等に取り組みます。</li> </ul>
3	農業生産基盤	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ●	⑥	<p>【将来の影響】 極端気象(多雨・洪水)や降雨強度の増加の増大や気温の上昇により農業生産基盤への影響が及ぶことが予測される。 集中豪雨の増加は、農地からの耕土流出が増えることで農地の劣化を引き、河川及び沿岸生態系への影響が懸念されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地すべり対策や排水路、ため池の整備、ハザードマップ策定などのリスク評価の実施などハード・ソフト対策を適切に組み合わせ、農村地域の防災・減災機能の維持に取り組む。</li> <li>農地の勾配修正、グリーンベルト、垣根植生等の発生源対策や、承水路、沈砂池、浸透池等の流出水対策に取り組む。</li> </ul>	回遊魚介類(魚類等の生態)	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ▲	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>高水温が要因とされる分布・回遊域の変化が報告され、漁獲量が減少した地域もあり、本県においても、マグロ類やカツオ類、ソディカ等の影響が懸念されています。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄周辺海域での漁海況調査、ソディカの資源量調査、国と共同でのクロマグロ産卵調査等を実施し情報収集に取り組みます。</li> </ul>
4	木材生産(人工林等)	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ▲	○	<p>【将来の影響】 気温の上昇により松くい虫被害の発生割合が長期化が懸念される。</p> <p>気温の上昇は、病害虫の分布の拡大や害虫の発生世代数の増加を生じさせ、人工林への被害が拡大する可能性がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マツ枯れ被害の蔓延を防止するため、マツノマダラカミキリに対する薬剤散布や、マツノザイセンチュウに対する樹幹注入などの予防と被害木の駆除に取り組む。</li> <li>松くい虫の駆除対策は、近年の気候変動等の影響を踏まえた生態の把握、発生予察の精度向上に努める。</li> <li>イスマキを被害するキオビエデンヤクは、被害状況、被害森林の多面的機能等を勘査して、防除を実施する。</li> <li>気候変動影響による新たな病害虫の侵入については、早期発見、早期駆除が重要であることから、関係機関と連携し、被害を見逃さない追跡・通报体制の整備等、普及活動や注意喚起を図る。</li> </ul>	増養殖等	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ▲	⑥	<ul style="list-style-type: none"> <li>養殖魚類の産地については夏季の水温上昇、モズク養殖業については冬場の気温上昇により、養殖不適になる海域が出ると予測されています。</li> <li>また、未知の疾病的侵入などが危惧されています。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>環境変化に対応したモズク培養種の作出や養殖技術の開発に取り組みます。</li> <li>魚介類養殖における疾病対策などに取り組みます。</li> </ul>
5	林業	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ●	○	<p>【将来の影響】 シイタケほだ木での分離頻度が高いシイタケ病原体のトリコルマ・ハルチアナムによる被害は、高い温度環境で大きくなることが懸念されており、夏場の高温がシイタケ栽培に影響を及ぼすヒボクレア菌による被害を助長する要因となっている可能性がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本県の気候に適したアラゲキクラゲの品種登録に向け、種菌の選別、研究等に取り組む。</li> <li>気候変動の進行による病原菌等の発生や収獲量等に関するデータを蓄積し、高温化に適応したきのこ類の栽培技術や品種等の開発・実証・普及に取り組む。</li> </ul>	沿岸域・内水面漁場環境等	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ▲	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>サンゴ礁や海草藻場類の減少に伴う水産資源への影響が懸念されています。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>沿岸域における水産資源の状況調査などに取り組みます。</li> </ul>
6	特用林産物(きのこ類等)	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ▲	○								
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
26											
27											
28											
29											
30											
31											
32											
33											
34											
35											
36											
37											
38											
39											

## 新旧対照表

(新) 改定版・素案(パブリックコメント用)					(旧) 現行計画
<p>1   回遊性魚介類(魚類等の生態)</p> <p>2   重大性: ●</p> <p>3   緊急性: ●</p> <p>4   確信度: ▲</p> <p>5   ○ 【将来の影響】</p> <p>6   ・海水温が要因とされる分布・回遊域の変化が報告され、漁獲量が減少した地域もあり、本県においてもマグロ類やカツオ類、ソティカ等の影響が懸念されている。</p> <p>7   水産業</p> <p>8   常養殖業</p> <p>9   重大性: ●</p> <p>10   緊急性: ●</p> <p>11   確信度: ▲</p> <p>12   ◎ 【現在の影響】</p> <p>13   ・海水温が底き、モズク養殖の開始時期が遅れる状況が見受けられる。</p> <p>14   【将来の影響】</p> <p>15   ・養殖魚類の産地については夏季の水温上昇、モズク養殖業については冬場の水温上昇により、養殖不適になる海域が出ると予測されている。</p> <p>16   ・また、未知の疫病の侵入などが危惧されている。</p> <p>17   沿岸域・内水・漁場環境等</p> <p>18   重大性: ●</p> <p>19   重大性: ●</p> <p>20   緊急性: ●</p> <p>21   確信度: ▲</p> <p>22   ◎ 【現在の影響】</p> <p>23   ・沖縄地域で、海水温の上昇により珊瑚性サンゴの白化現象の頻度が増大している。2022年、2024年には、海水温の上昇によるサンゴの白化現象が見られた。</p> <p>24   【将来の影響】</p> <p>25   ・サンゴ礁や海草藻場の減少に伴う沿岸域の環境変化による水生資源への影響が懸念されている。</p>					
<p>※ 青文字: 水で取組は実施していないが、国の影響評価及び対応計画に基に重要と思われる細目について参考に記載</p> <p>※ ○: 本県において施策が実施されている細目</p> <p>※ ◎: 本県において施策が実施されており、特に重要と考えられる細目</p> <p>※ 黄色細掛けは、現行計画から追加・変更した内容</p>					

## 新旧対照表

(新) 改定版・素案(パブリックコメント用)					(旧) 現行計画
項目	細目	国による影響評価(適応計画R5)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策
水環境	河川	重大性: ● 緊急性: ▲ 確信度: ■	◎	<p>【現在の影響】 ・2024年度の海域の赤土等堆積状況は、モニタリング開始以降最も悪くなっている。</p> <p>【将来の影響】 ・気候変動による降水量の増加よ赤土等の流出量を増加させ、沿岸域の赤土等堆積状況の悪化をもたらす可能性がある。 ・降雨強度の高い降水量の増加により、河川を通じて海域への赤土等流出量の増加が懸念されている。</p>	<p>・水質の常時監視を行うとともに、気候変動にともなう変化が検討できるようデータの蓄積を行っていく。</p> <p>・海域における赤土等堆積状況のモニタリングを行い、降雨状況や陸域における土地利用状況も考慮し、気候変動による赤土等流出状況の変化を把握すると共に、変化に応じた赤土等流出防止対策を検討する。</p>
	水供給(地表水)	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ●		<p>【現在の影響】 ・2023年9月以降の小雨により、直近10年でダム貯水率が過去最低を記録した。</p> <p>【将来の影響】 ・気候変動により将来的に少雨が続くことも想定される。 ・入城観光者数の増加に伴い水使用量が増加すると予想される中、気候変動による無降水日の増加により水不足が発生することが懸念されている。</p>	<p>・下水処理水の一部を高度処理(生物膜ろ過+オゾン処理+塩素滅菌)し、雑用水(トイレ洗浄用水、散水用水等)への利用に取り組む。</p> <p>・地下水の利用、トイレ用水等の用途での雨水、中水の利用に取り組む。</p> <p>・海水淡化化施設を導入する等、湯水対策、災害時の水資源対策に取り組む。</p>
水資源	水資源	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ●	◎	<p>【現在の影響】 ・2023年9月以降の小雨により、直近10年でダム貯水率が過去最低を記録した。</p> <p>【将来の影響】 ・気候変動により将来的に少雨が続くことも想定される。</p>	<p>・気候変動により将来的に少雨が続くことも想定されています。</p> <p>・入城観光者数の増加に伴い水使用量が増加すると予想される中、気候変動による無降水日の増加により水不足が発生することが懸念されています。</p>
					<p>・下水処理水の一部を高度処理(生物膜ろ過+オゾン処理+塩素滅菌)し、雑用水(トイレ洗浄用水、散水用水等)への利用に取り組みます。</p> <p>・地下水の利用、トイレ用水等の用途での雨水、中水の利用に取り組みます。</p> <p>・海水淡化化施設を導入する等、湯水対策、災害時の水資源対策に取り組みます。</p>

※ 青文字: 県で取組は実施していないが、国の影響評価及び適応計画に基く重要と思われる細目について参考に記載

※ ○: 本県において施策が実施されている細目

※ ◎: 本県において施策が実施されており、特に重要なと想定される細目

※ 黄色網掛け: 現行計画から追加・変更した内容

## 新旧対照表

(新) 改定版・素案(パブリックコメント用)					(旧) 現行計画
1 (3) 自然生態系					2 本県では約400種余の造礁サンゴが分布し、広大なサンゴ礁を形成しており、それが海域の生態系を維持する生息域にもなっていますが、高水温によるサンゴの白化、集中豪雨に伴う赤土等の流出など、サンゴ礁生態系への影響が懸念されていることから、白化に強いサンゴの遺伝学的分析やサンゴ礁保全活動への支援などに取り組みます。
3 東西約1,000km、南北約400kmの広大な海域に、大小様々な島々からなる本県は、南 4 北に広く位置しており、約400種余の造礁サンゴが分布し、広大なサンゴ礁を形成しています。 5 それらは海域の生態系を維持する生息域にもなっていますが、高水温によるサンゴの白 6 化、集中豪雨に伴う赤土等の流出など、サンゴ礁生態系への影響が懸念されていることから、 7 白化に強いサンゴの遺伝学的分析やサンゴ礁保全活動への支援などに取り組みます。					8 また、本県の陸域は本土と比較すると固有種の多い島しょ生態系を有し、多くの野生動植物 9 の生育生息の場となっていますが、気温上昇による種の存続への影響が懸念されていることから、野生生物の生息・生育状況調査等の取組を実施し、本県の自然生態系を守るためにの適応策を展開します。
項目	細目	国による影響評価(適応計画RS)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策
沿岸生態系	熱帯	重大性: ● 重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ●	◎	<p><b>【現在の影響】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冲縄本島で、海水温の上昇により珊瑚礁生態系の白化現象が増大している。2022年・2024年には、海水温の上昇によるサンゴの白化現象が見られた。</li> <li>・西表島のマングローブについて、海面水位の上昇に伴う淡水涵養の変化によるものと考えられる立ち枯れが確認されている。</li> <li>・海水温上昇と海洋酸化によるサンゴ礁の消失の可能性が示唆されている。</li> <li>・マングローブについては、海面上昇の速度が速いとヒルギが対応できず、生育できなくなる場所も生じると予測されている。</li> </ul> <p><b>【将来の影響】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高水温によるサンゴの白化現象、集中豪雨による赤土等の流出が、サンゴ礁生態系に影響を及ぼすことが懸念されている。</li> <li>・海水温上昇と海洋酸化によるサンゴ礁の消失の可能性が示唆されている。</li> <li>・マングローブについては、海面上昇の速度が速いとヒルギが対応できず、生育できなくなる場所も生じると予測されている。</li> </ul>	<p>・サンゴ礁等の白化現象による死亡が起こりにくい環境条件の解明、白化に強いサンゴの遺伝学的分析、遮光等による白化緩和技術の開発等に取り組む。</p> <p>・NPO団体等が実施するモデル地域内でのサンゴ礁保全活動への支援に取り組む。</p> <p>・海洋酸化によるサンゴ礁等への影響について、情報収集に努める。</p> <p>・マングローブの生育状況や分布状況について情報収集に努めるとともに、気候変動によるマングローブ生態系への影響調査について検討する。</p>
	生物季節	重大性: ◇ 緊急性: ● 確信度: ●		<p><b>【将来の影響】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植物の開花の早まりや動物の初鳴きの早まりなど、動植物の生物季節の変動について多数の報告が確認されている。</li> </ul> <p><b>【将来の影響】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気候変動により、分布域の変化やライフサイクル等の変化が起こる可能性がある。2050年までに2°Cを超える気温上昇を仮定した場合、全球で3割以上の種が絶滅する危機があると予測されている。</li> </ul>	<p>・生物季節の変動について情報収集に努めるとともに、変動が認められた場合は、気候変動による自然生態系全体への影響調査について検討する。</p> <p>・野生生物の生息・生育状況調査、生物多様性情報等の情報収集に取り組む。</p> <p>・生物多様性プラットフォームの構築により、本県の生物多様性に関する情報の一元化に取り組みます。</p>
その他	分布・個体群の変動(在来生物)	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ●	○	<p><b>【将来の影響】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気候変動は外來種の分布拡大や定着を促進することが指摘されており、今後、外來種による生態系への被害のリスクが高まることが懸念される。</li> </ul>	<p>・高水温によるサンゴの白化現象、集中豪雨による赤土等の流出が、サンゴ礁生態系に影響を及ぼすことが懸念されています。</p> <p>・サンゴ種苗等の白化現象による死亡が起こりにくい環境条件の解明、白化に強いサンゴの遺伝学的分析、遮光等による白化緩和技術の開発等に取り組みます。</p> <p>・NPO団体等が実施するモデル地域内でのサンゴ礁保全活動への支援に取り組みます。</p> <p>・マングローブについて、海面上昇の速度が速いとヒルギが対応できず、生育できなくなる場所も生じると予測されています。</p> <p>・マングローブの生育状況や分布状況について情報収集に努めるとともに、気候変動によるマングローブ生態系への影響調査について検討します。</p>
	分布・個体群の変動(外来生物)	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ▲		<p><b>【将来の影響】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気候変動は外來種の分布拡大や定着を促進することが指摘されており、今後、外來種による生態系への被害のリスクが高まることが懸念される。</li> </ul>	<p>・植物の開花の早まりや動物の初鳴きの早まりなど、動植物の生物季節の変動について情報収集に努めるとともに、気候変動による自然生態系全体への影響調査について検討します。</p> <p>・野生生物の生息・生育状況調査、生物多様性情報等の情報収集に取り組みます。</p> <p>・生物多様性プラットフォームの構築により、本県の生物多様性に関する情報の一元化に取り組みます。</p> <p>・外來種の侵入及びそれらの定着状況等の調査を通して、情報収集に取り組みます。</p>

(その1)

## 新旧対照表

(新) 改定版・素案(パブリックコメント用)					(旧) 現行計画						
項目	細目	国による影響評価(調査計画H5)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策	項目	細目	国による影響評価(2020年)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策
生態系サービス	沿岸域の藻場生態系による水産資源の供給機能等	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ▲	○	【将来の影響】 ・沿岸漁業の基礎となる環境の変化が、漁獲対象種や漁獲高に影響を与える。 それにより、沿岸域の地域社会等に与える影響も大きいと考えられる。	・特に影響が生じる可能性が高いサンゴ礁、海草藻場等において、モニタリング調査を実施し、気候変動による影響の有無を評価できるようデータの蓄積を行っていく。	生態系サービス	沿岸域の生態系による水産資源の供給機能等	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ▲	○	・沿岸漁業の基盤となる環境の変化が、漁獲対象種や漁獲量に影響を与えます。それにより、沿岸域の地域社会等に与える影響も大きいと考えられます。	・特に影響が生じる可能性が高いサンゴ礁、海草藻場等において、モニタリング調査を実施し、気候変動による影響の有無を評価できるようデータの蓄積を行っていきます。
	サンゴ礁によるEco-DRR機能等	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ●		【将来の影響】 ・白化や海洋酸性化によるサンゴ礁へのストレスは、サンゴ礁による防波機能に深刻な影響が生じる可能性がある。	・サンゴ礁などの自然環境の有する防災機能に関する普及啓発に取り組む。		サンゴ礁によるEco-DRR機能等	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ●		・サンゴ礁の消失による防災機能の劣化・喪失が懸念されています。	・サンゴ礁などの自然環境の有する防災機能に関する普及啓発に取り組みます。
※Eco-DRR:Ecosystem-based Disaster Risk Reduction、生態系を活用した防災・減災機能の意味						(その2)					
※ 青文字: 県で取組は実施していないが、国の影響評価及び調査計画に基に重要と思われる細目について参考に記載											
※ ○: 本県において施設が実施されている細目											
※ ◎: 本県において施設が実施されており、特に重要な細目											
※ 黄色網掛け: 現行計画から追加・変更した細目											

## 新旧対照表

(新) 改定版・素案(パブリックコメント用)					(旧) 現行計画	
項目	細目	国による影響評価(適応計画RF)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策	
洪水、内水	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ●	【現在の影響】 2024年の集中豪雨の際に河川改修による流下能力の向上やダムによるピーク流量の軽減により組むとともに、河川改修と並行して、河川の浚渫に取り組む。 【将来的影響】 集中豪雨による河川取水施設の浸水、漏水による取水停止の増加が懸念されている。 降雨量の増大や集中豪雨による水害の激甚化・頻発化が予測されている。 河川の近くの低平地帯では、河川水位が上昇する傾向の増加によって、浸水時間の長期化を招くと想定される。  ・農及び市町村等の防災実績機関は、他の階級別段と連携の上、災害時に発生する状況を予め想定し、各機関が実施する災害対応を時系列で整理した防災行動計画(タイムライン)を作成するよう努めるものとする。また、災害対応の検証等も踏まえ、必要に応じて同計画の見直しを行ふとともに、平野から河川訓練、実働訓練、津波避難実働訓練等を関係機関と連携して取り組み、同計画の効率的な運用に努めるものとする。  ・生活物資等の調達や供給が円滑に行えるよう、民間事業者等との間で災害時布施協定の締結・連携に取り組む。 ・災害時の避難場所確保のため避難地としての役割を担う都市公園の整備に取り組む。 ・洪水、増水等により河川から取水が行えない場合は、ダム水を導きや等の水道網に取り組む。 ・慣性的な水位低下率については雨水貯留・浸透施設の設置促進、また、建築物の耐震化及び改築等に際しては地盤面の嵩上げを推進する等、長期的視点からその解消策を検討する。 ・水災害リスクの増大に備えるために沖縄県の管理する二級水系においては、「沖縄県管理河川の大規模氾濫に関する減災対策協議会」を活用し、流域全体で緊急的に実施すべき治水対策の全体像を「流域治水プロジェクト」として策定・公表する。	◎	・洪水による浸水被害を軽減するため河川改修による流下能力の向上やダムによるピーク流量の軽減により組むとともに、河川改修と並行して、河川の浚渫に取り組む。 ・洪水浸水強度区域の指定・公表や河川の水位を公表に取り組む。 ・集中豪雨などによる都市浸水被害を防止するため、雨水排水の公共下水道の整備に取り組む。  ・農及び市町村等の防災実績機関は、他の階級別段と連携の上、災害時に発生する状況を予め想定し、各機関が実施する災害対応を時系列で整理した防災行動計画(タイムライン)を作成するよう努めるものとする。また、災害対応の検証等も踏まえ、必要に応じて同計画の見直しを行ふとともに、平野から河川訓練、実働訓練、津波避難実働訓練等を関係機関と連携して取り組み、同計画の効率的な運用に努めるものとする。  ・生活物資等の調達や供給が円滑に行えるよう、民間事業者等との間で災害時布施協定の締結・連携に取り組みます。 ・災害時の避難場所確保のため避難地としての役割を担う都市公園の整備に取り組みます。 ・洪水、増水等により河川から取水が行えない場合は、ダム水を導きや等の水道網に取り組みます。	(その1)	
河川				・土地開発による透水面積の低下が進み、雨水流出が増大し、集中豪雨による水害が多く発することが懸念されています。  ・台風の大型化・強力化に伴う被害の増加の可能性があります。  ・集中豪雨による河川取水施設の浸水、漏水による取水停止の増加が懸念されています。  ・防災時の図上訓練、実働訓練、津波避難実働訓練等を関係機関と連携して取り組みます。  ・生活物資等の調達や供給が円滑に行えるよう、民間事業者等との間で災害時布施協定の締結・連携の推進に取り組みます。  ・災害時の避難場所確保のため避難地としての役割を担う都市公園の整備に取り組みます。  ・洪水、増水等により河川から取水が行えない場合は、ダム水を導きや等の水道網に取り組みます。	河川	◎

## 新旧対照表

(新) 改定版・素案(パブリックコメント用)					(旧) 現行計画							
項目	細目	国による影響評価(酒井計画)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策	項目	細目	国による影響評価(2020年)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策	
沿岸	海面水位の上昇	重大性: ● 緊急性: ▲ 確信度: ●	◎	<p>【将来の影響】  <b>・海面水位の上昇が生じると、台風、低気圧の強化が強い場合にも、河川と比較して高潮、高波、津波による沿岸の防災施設、港湾・漁港施設等の構造物の低下や損傷などの被災リスクが高まるとともに沿岸部の水没・浸水、海岸侵食の加速度、港湾及び漁港適用への支障、干潟や河川の底質変動の生態系への影響が懸念される。</b></p>	<p>・津波・高潮河水想定、津波・高潮災害警戒区域の設定を行い、市町村が行うハザードマップの策定の基礎資料提供に取り組む。  <b>・潮位変動等に伴う、設計基準の見直しを行い、防潮堤等の整備推進に取り組む。</b></p>	(その2)	海面水位の上昇	重大性: ● 緊急性: ▲ 確信度: ●	◎	<p>・気候変動による海面水位の上昇が進んだ場合、砂浜消失が懸念されるほか、津波や高潮による危害の区域を見直す影響があります。</p>	<p>・津波・高潮浸水想定、津波・高潮災害警戒区域の設定を行い、市町村が行うハザードマップの策定の基礎資料提供に取り組みます。</p>	
		重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ●	◎	<p>【将来の影響】  <b>・台風の強度や経路の変化等による高波のリスクが増大する可能性が予測されている。</b>  <b>・河川への海水進入により、河川取水施設に海水が流入する被害の発生の可能性がある。</b>  <b>・沿岸の消防施設、港湾・漁港施設等の構造物などでは、海面水位の上昇や台風や季節の発達した低気圧の強さが増加して潮位偏差や波高が増大すると、浸水リスクが高まるなど安全性が十分確保できなくなる箇所が多くなると予測される。</b></p>	<p>・異常な現象の実験を把握し、対策を検討するための研究開発等を推進するとともに、中長期的なモニタリングの実施に向けた移動監視体制を確立する。  <b>・また、取得した観測データを地域住民等に迅速に周知することで、避難等の対策の効率化を図ることもに、危険意識の向上に結び付けるような情報公開に努める。</b>  <b>・高潮・津波・浸水についての防護水準について検討する。</b>  <b>・海岸防災林等の整備を強化し、津波・高潮の災害防止機能の充実を図る。</b>  <b>・背後地の状況等を考慮して、設計の対象を超える津波、高潮等の作用に対して施設の耐震化や既存施設の補強、たりきり構造の対応、脚部及び基礎部の強度の整備を推進する。</b>  <b>・河川取水施設の取水口でのカメラによる監視等を行い、海水進入の対策に取り組む。</b></p>			重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ●	◎	<p>・海面水位の上昇が進む場合、設計水位を見直す必要が生じてきます。</p>	<p>・L1津波<sup>※</sup>を想定して、津波に対応する防護機能の評価等に取り組みます。</p>	
	海岸侵食	重大性: ● 緊急性: ▲ 確信度: ●	◎	<p>【将来の影響】  <b>・海面水位の上昇が進む場合、海岸保全施設の設計を見直す必要が生じてくる。</b>  <b>・気候変動による海面水位の上昇によって、海岸が侵食される可能性が高い。</b></p>	<p>・海岸保全施設として着工を行うことにより、砂浜の再生に取り組む。  <b>・海岸環境を積極的に保全する区域として定めた区域において保安林を整備する施設が必要となつた場合には、関係機関と協議した上で、より自然的な海岸環境が保たれるような整備手法について検討する。</b></p>		海岸侵食	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ●	◎	<p>・海面水位の変動が生じる場合、海岸保全施設の設計を見直す必要が生じてきます。</p>	<p>・海岸保全施設として養浜工を行うことにより、砂浜の再生に取り組みます。</p>	
	土石流・地すべり等	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ●	◎	<p>【将来の影響】  <b>・海面水位の上昇が進む場合、海岸保全施設の設計を見直す必要が生じてくる。</b>  <b>・気候変動による海面水位の上昇によって、海岸が侵食される可能性が高い。</b></p>	<p>・海岸保全施設として着工を行うことにより、砂浜の再生に取り組む。  <b>・海岸環境を積極的に保全する区域として定めた区域において保安林を整備する施設が必要となつた場合には、関係機関と協議した上で、より自然的な海岸環境が保たれるような整備手法について検討する。</b></p>		土石流・地すべり等	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ●	◎	<p>・長雨や集中豪雨による土砂災害発生の危険度が高まることが懸念されています。</p>	<p>・土砂災害の発生する恐れのある区域について、砂防施設・地すべり防止施設、急傾斜地崩壊防止施設の整備推進に取り組みます。</p>	
	山地	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ●	◎	<p>【将来の影響】  <b>・長雨や集中豪雨による土砂災害発生の危険度が高まることが懸念されている。</b>  <b>・気候変動による災害危険区域の拡大や、そこに生活することにより、生命</b></p>	<p>・土砂災害の発生する恐れのある区域について、砂防施設・地すべり防止施設、急傾斜地崩壊防止施設の整備推進に取り組む。  <b>・土砂・洪水氾濫リスクの高い流域を明らかにし、土砂・洪水氾濫対策</b></p>		強風等	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ▲	◎	<p>・強い台風の増加等が予測されています。</p>	<p>・農林水産分野においては、災害に強い低成本耐候性ハウスの導入等を推進するとともに、気象災害に関する情報を活用し、身の安全を確保する行動を促進します。</p>	

## 新旧対照表

(新) 改定版・素案(パブリックコメント用)					(旧) 現行計画
項目	細目	国による影響評価(調査計画R5)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における対応策
1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36
37	38	39	40	41	42
43	44	45	46	47	48
49	50	51	52	53	54
55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66
67	68	69	70	71	72
73	74	75	76	77	78
79	80	81	82	83	84
85	86	87	88	89	90
91	92	93	94	95	96
97	98	99	100	101	102
103	104	105	106	107	108
109	110	111	112	113	114
115	116	117	118	119	120
121	122	123	124	125	126
127	128	129	130	131	132
133	134	135	136	137	138
139	140	141	142	143	144
145	146	147	148	149	150
151	152	153	154	155	156
157	158	159	160	161	162
163	164	165	166	167	168
169	170	171	172	173	174
175	176	177	178	179	180
181	182	183	184	185	186
187	188	189	190	191	192
193	194	195	196	197	198
199	200	201	202	203	204
205	206	207	208	209	210
211	212	213	214	215	216
217	218	219	220	221	222
223	224	225	226	227	228
229	230	231	232	233	234
235	236	237	238	239	240
241	242	243	244	245	246
247	248	249	250	251	252
253	254	255	256	257	258
259	260	261	262	263	264
265	266	267	268	269	270
271	272	273	274	275	276
277	278	279	280	281	282
283	284	285	286	287	288
289	290	291	292	293	294
295	296	297	298	299	300
301	302	303	304	305	306
307	308	309	310	311	312
313	314	315	316	317	318
319	320	321	322	323	324
325	326	327	328	329	330
331	332	333	334	335	336
337	338	339	340	341	342
343	344	345	346	347	348
349	350	351	352	353	354
355	356	357	358	359	360
361	362	363	364	365	366
367	368	369	370	371	372
373	374	375	376	377	378
379	380	381	382	383	384
385	386	387	388	389	390
391	392	393	394	395	396
397	398	399	400	401	402
403	404	405	406	407	408
409	410	411	412	413	414
415	416	417	418	419	420
421	422	423	424	425	426
427	428	429	430	431	432
433	434	435	436	437	438
439	440	441	442	443	444
445	446	447	448	449	450
451	452	453	454	455	456
457	458	459	460	461	462
463	464	465	466	467	468
469	470	471	472	473	474
475	476	477	478	479	480
481	482	483	484	485	486
487	488	489	490	491	492
493	494	495	496	497	498
499	500	501	502	503	504
505	506	507	508	509	510
511	512	513	514	515	516
517	518	519	520	521	522
523	524	525	526	527	528
529	530	531	532	533	534
535	536	537	538	539	540
541	542	543	544	545	546
547	548	549	550	551	552
553	554	555	556	557	558
559	560	561	562	563	564
565	566	567	568	569	570
571	572	573	574	575	576
577	578	579	580	581	582
583	584	585	586	587	588
589	590	591	592	593	594
595	596	597	598	599	600
601	602	603	604	605	606
607	608	609	610	611	612
613	614	615	616	617	618
619	620	621	622	623	624
625	626	627	628	629	630
631	632	633	634	635	636
637	638	639	640	641	642
643	644	645	646	647	648
649	650	651	652	653	654
655	656	657	658	659	660
661	662	663	664	665	666
667	668	669	670	671	672
673	674	675	676	677	678
679	680	681	682	683	684
685	686	687	688	689	690
691	692	693	694	695	696
697	698	699	700	701	702
703	704	705	706	707	708
709	710	711	712	713	714
715	716	717	718	719	720
721	722	723	724	725	726
727	728	729	730	731	732
733	734	735	736	737	738
739	740	741	742	743	744
745	746	747	748	749	750
751	752	753	754	755	756
757	758	759	760	761	762
763	764	765	766	767	768
769	770	771	772	773	774
775	776	777	778	779	780
781	782	783	784	785	786
787	788	789	790	791	792
793	794	795	796	797	798
799	800	801	802	803	804
805	806	807	808	809	810
811	812	813	814	815	816
817	818	819	820	821	822
823	824	825	826	827	828
829	830	831	832	833	834
835	836	837	838	839	840
841	842	843	844	845	846
847	848	849	850	851	852
853	854	855	856	857	858
859	860	861	862	863	864
865	866	867	868	869	870
871	872	873	874	875	876
877	878	879	880	881	882
883	884	885	886	887	888
889	890	891	892	893	894
895	896	897	898	899	900
901	902	903	904	905	906
907	908	909	910	911	912
913	914	915	916	917	918
919	920	921	922	923	924
925	926	927	928	929	930
931	932	933	934	935	936
937	938	939	940	941	942
943	944	945	946	947	948
949	950	951	952	953	954
955	956	957	958	959	960
961	962	963	964	965	966
967	968	969	970	971	972
973	974	975	976	977	978
979	980	981	982	983	984
985	986	987	988	989	990
991	992	993	994	995	996
997	998	999	999	999	999

## 新旧对照表

(新) 改定版・素案 (パブリックコメント用)					(旧) 現行計画
(5) 健康					(5) 健康
沖縄地方では、地球温暖化により年間平均気温が上昇し、熱中症リスクの増加が懸念されています。本県は観光客が多く、県民のみならず来訪者に対しても熱中症対策を進めることが重要です。そのため、公共施設や学校教育現場など各施設における適正環境の提供に取り組みます。また、気温上昇により熱帯的な気候に変化することにより、熱帯地域特有の感染症を媒介する蚊の定着が高まる可能性があることから、蚊を探集・分類同定し発生状況調査などに取り組み、県民の健康を守るための適応策を展開します。					沖縄地方では、地球温暖化により年間平均気温が上昇し、熱中症リスクの増加が懸念されていることから、公共施設や学校教育現場など各施設における適正環境の提供に取り組みます。また、気温上昇により熱帯的な気候に変化することにより、熱帯地域特有の感染症を媒介する蚊の定着が高まる可能性があることから、蚊を探集・分類同定し発生状況調査などに取り組み、県民の健康を守るための適応策を展開します。
項目	細目	国による影響評価 (適応計画版)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策
死亡リスク等	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ●  ◎	【現在の影響】 ・消防庁の調査によると、2021年以降、県内における熱中症による死亡者は毎年、複数名発生している。 【将来的影響】 ・熱ストレス超過死亡数は、年齢層に関わらず、全ての県で2倍以上になると予測されている。 ・気温上昇により心血管疾患による死亡者数が増加すること、2030年・2050年に暑熱による高齢者の死者数が増加することが予測されている。	各場面における気象情報及び暑さ指数（WBGT）の提供や注意喚起、予防・対処法の普及啓発、発生状況等に係る情報提供に取り組む。	死亡リスク等	・熱ストレス超過死亡数は、年齢層に関わらず、全ての県で2倍以上になると予測されています。
暑熱	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ●  ◎	【現在の影響】 ・県内における熱中症による救急搬送人員、熱中症死亡者数の増加傾向が確認されている。 【将来的影響】 ・従来の感覚での厚さ対策では不十分で、長期にわたって健康を損ねたり、死亡事故につながる事例がある。 ・県内では、只夏日や熱帯夜の年間日数は長期的に増加していることから、観光客に対して熱中症対策について情報発信する必要がある。	・夏季チラシの作成、県内広報誌への記載、webサイト上の暑さ指数の公表等により、熱中症対策に係る情報を県民に周知する。  ・熱中症対策に係る情報を県民・観光客に周知する。 ・消防庁の「夏期における熱中症による救急搬送状況」のデータを活用し、県内の熱中症による救急搬送人員の公表に取り組む。  ・労働者の熱中症を防止するため、国の「職場における熱中症予防基準(要綱)」に基づく暑さ指数の把握とその値に応じた熱中症予防対策の適切な実施に取り組む。 ・県立学校の空調設備の整備に取り組む。 ・防暑施設等の整備による漁業労働環境の改善を行う。 ・県庁各部局の役割を明確にし、厅内体制を整備することで、熱中症特別警戒情報の発表に備える。 ・県内・県外の関係機関における熱中症に関する取組や気象情報と共に、熱中症予防対策の効果的な発展を目的に、熱中症予防対策連絡会議を開催する。  ・感染症に関する患者情報の収集・分析・公表及び病原体の検査等に取り組むとともに、平時から検疫所等との堅密な情報交換を行う。	暑熱	・従来の感覚での暑さ対策では不十分で、長期間にわたって健康を損ねたり、死亡事故につながる危険性が高くなっています。
感染症	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ▲  ◎	・気候変動の影響により熱帶性の感染症が沖縄県でも定着、拡散する可能性があります。  ・インフルエンザや手足口病などの感染症類の発症リスク・流行パターンの変化が新たに報告されています。	熱帯性感染症	・蚊媒介感染症が発生するリスクを評価するため、選定されたモニタリング点で蚊を探集・分類同定し発生状況調査に取り組みます。  ・感染症に関する患者情報の収集・分析・公表及び病原体の検査等に取り組みます。	
熱中症	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ▲  ◎	・暑熱による高齢者の熱中症等のリスクの増加が懸念されています。	熱中症	・気候変動がもたらす健康への影響に関する知見が不足していることから、科学的知見の集積を図っていきます。	
119					106

## 新旧対照表

(新) 改定版・素案(パブリックコメント用)					(旧) 現行計画
項目	細目	国による影響評価 (進歩計画)	県の重要度	本県における現在の影響及び 将来想定される影響	本県における適応策
感染症	蹄足動物媒介感染症	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ▲	○	<p>【現在の影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地政局変化等の環境変化の影響等に伴い、東南アジアを中心とした近隣諸国等からの病原体や媒介動物（蚊やダニ類等）の侵入・定着が懸念されている。実際に、従来県内では確認されていなかったつながら虫病や日本狂犬病が発生している。</li> </ul> <p>【将来の影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先進国が進めば、ヒトスジシマカやアカイエカの活動期間が長期化する可能性がある。</li> <li>気温上昇により、日本脳炎を媒介する外来性の蚊の巣穴・沖縄地方での分布可能域が拡大する可能性が指摘されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>媒介感染症が発生するリスクを評価するため、選定されたモニタリング定点で数を採集・分類同定し発生状況調査に取り組む。</li> </ul>
	熱中症	脆弱性が高いと思われる高齢者等への影響	●	<p>【現在の影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>暑熱による高齢者の熱中止等のリスクの増加傾向にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候変動がもたらす健康への影響に関する知見が不足していることから、科学的知見の集積を図っていく。</li> <li>建設工事従事者の高齢化が進行していることを踏まえ、高齢者に配慮した作業方法や熱中症対策等作業環境の改善を図る。</li> </ul>

※ 書文字: 県で取組は実施していないが、国の影響評価及び進歩計画に基く重要と思われる細目について参考に記載

※ ○: 本県において施策が実施されている細目

※ ◎: 本県において施策が実施されており、特に重要な細目

※ 黄色網掛けは、現行計画から追加・変更した内容

## 新旧対照表

(新) 改定版・素案(パブリックコメント用)					(旧) 現行計画				
1 (6) 産業・経済活動					(6) 産業・経済活動				
2 本県の観光産業は恵まれた自然と独自の文化を活かして大きく発展してきましたが、気候 3 変動の影響に伴う海面上昇による砂浜の減少など、海洋スポーツや自然観光への影響等が懸 4 念されています。また、気温の上昇による空調機の冷房負荷の上昇や、建設工事におけるコ 5 ンクリートの質の維持等の建設関係への影響も懸念されていることから、観光業、建設業の 6 影響に関する科学的知見の集積を図るなど、本県の産業・経済活動を守るために適応策を展 7 開します。					本県の観光産業は恵まれた自然と独自の文化を活かして大きく発展してきましたが、気候変動 の影響に伴う海面上昇による砂浜の減少など、海洋スポーツや自然観光への影響等が懸念されて います。また、気温の上昇による空調機の冷房負荷の上昇や、建設工事におけるコンクリートの 質の維持等の建設関係への影響も懸念されていることから、観光業、建設業の影響に関する科学的 知見の集積を図るなど、本県の産業・経済活動を守るために適応策を展開します。				
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									

## 新旧対照表

(新) 改定版・素案(パブリックコメント用)					(旧) 現行計画	
項目	細目	国による影響評価(適応計画RG)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策	
都市インフラ・ライフライン	水道・交通等	<p><b>【現在の影響】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大雨による斜面崩落を防止するための斜面崩壊・落石対策に取り組む。</li> <li>高潮等による護岸の崩壊を防止するための護岸の保全等に取り組む。</li> <li>洪水による浸水被害が生じている箇所について、河川改修を実施し、洪水被害の軽減に取り組む。</li> <li>市町村が設置する一般廃棄物処理施設に対して、災害対策の指導・助言に取り組む。</li> <li>大雨浸地等の災害時に発生する廃棄物の円滑な処理体制を整備するため、「沖縄県災害廃棄物処理計画」を策定しており、災害に備える。</li> <li>台風等の自然災害時における自立的な電源確保（再生可能エネルギーの利用等）の導入を促進する。</li> <li>災害時ににおいて港湾の航行権利を維持し、背後産業への影響を最小化するため、施設について所要の権利の維持を図るとともに、企業等に対するリスク情報の提供や港湾の事業継続計画（港湾BCP）の策定等に取り組む。</li> <li>沿岸部の空港について、人命保護の観点から、高潮等に関する被害想定を作成するとともに、空港周辺への周知等を図る。</li> <li>緊急輸送道路として、安全性、信頼性の高い道路網の整備、無属性化等を推進する。</li> </ul> <p><b>【将来の影響】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国にとって身近なサクラ、セミ等の動植物の生物季節の変化が懸念されている。</li> <li>リクラの開花及び開花期間について、将来的の開花は西南日本では遅くなる傾向にあり、気温の上昇により開花から開花までに必要な日数は短くなる可能性が高い。そのため花見ができる日数の減少、サクラを観光資源とする地域への影響が予測されている。</li> </ul>	◎	<p><b>【現在の影響】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大雨による斜面崩落を防止するための斜面崩壊・落石対策に取り組む。</li> <li>高潮等による護岸の崩壊を防止するための護岸の保全等に取り組みます。</li> <li>洪水被害が生じている箇所について、河川改修を行い、洪水被害軽減に取り組みます。</li> <li>市町村が設置する一般廃棄物処理施設に対して、災害対策の指導・助言に取り組みます。</li> <li>大規模地震等の災害時に発生する廃棄物の円滑な処理体制を整備するため、「沖縄県災害廃棄物処理計画」を策定しております、災害に備えます。</li> <li>台風等の自然災害時における自立的な電源確保（再生可能エネルギーの利用等）の導入を促進します。</li> </ul> <p><b>【将来の影響】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国民にとって身近なサクラ、セミ等の動植物の生物季節の変化が懸念されています。</li> <li>気温上昇による、生物多様性の減少が懸念されています。</li> <li>将来的に気温上昇による熱中症対策の増加等の可能性があります。</li> <li>建築物省エネ法等が改正された事に伴い、手引書の改訂が必要となってきます。</li> <li>過去5年間(2015~2021年)の職場における熱中症死亡者数、死傷者数はとともに建設業において最大となっています。</li> </ul>	<p><b>(7) 国民生活・都市生活</b></p> <p>県民生活や観光を含めた産業振興において、インフラ・ライフラインは大変重要な役割を担っています。気候変動による短時間強雨や強い台風の増加等によるインフラ・ライフラインへの影響を軽減するため、土砂崩れに対する対策や河川の氾濫対策等に取り組むとともに、気候変動による生物季節の変動への影響調査や気温上昇に対する暑熱対策の取組など、本県の国民生活・都市生活を守るために適応策を展開します。</p>	
文化・歴史などを感じる暮らし	生物季節	<p><b>【将来の影響】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国にとって身近なサクラ、セミ等の動植物の生物季節の変化が懸念されている。</li> <li>リクラの開花及び開花期間について、将来的の開花は西南日本では遅くなる傾向にあり、気温の上昇により開花から開花までに必要な日数は短くなる可能性が高い。そのため花見ができる日数の減少、サクラを観光資源とする地域への影響が予測されている。</li> </ul>	●	<p><b>生物季節</b></p> <p>重大性：◆ 緊急性：● 確信度：●</p>	<p><b>本県における現在の影響及び将来想定される影響</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国民にとって身近なサクラ、セミ等の動植物の生物季節の変化が懸念されています。</li> </ul>	<p><b>本県における適応策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>流域の良好な水循環の確保、ヒートアイランド現象の緩和等、良好な生活環境の整備に取り組んでいくよう関係機関で連絡調整に取り組みます。</li> <li>環境緑化や自然の保全、緑とふれあう憩いの場所の創出、レクリエーション活動の場として都市公園の整備に取り組みます。</li> <li>建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律（建築物省エネ法）等に基づいて、住宅、建築物の省エネルギー化の推進に取り組みます。</li> <li>行政、団体、企業等による緑化活動を推進します。（全島みどりと花いっぱい運動事業）</li> </ul>

## 新旧対照表

(新) 改定版・素案(パブリックコメント用)					(旧) 現行計画
項目	細目	国による影響評価(調査計画R5)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20	その他 暑熱による生活への影響等	重大性:● 緊急性:● 確信度:●  ◎	【将来の影響】 ・気温上昇による、生物多様性の減少が懸念されている。 ・将来的に気温上昇による熱中症の増加等の可能性がある。 ・建築物省エネ法等が改正された事に伴い、手引書の改訂が必要となってくる。 ・過去5年間(2015~2021年)の職場における熱中症死亡者数、死傷者数はともに建設業において最大となっている。 ・気候変動による災害の発生時や気温の長期的な上昇傾向による熱中症の増加が想定される。	県の重要度 ⑤	<p>・環境緑化や自然の保全、緑とふれあう憩いの場所の創出、レクリエーション活動の場として都市公園の整備に取り組む。</p> <p>・建築物のエネルギー消費性態の向上に関する法律(建築物省エネ法)等に基づいて、住宅・建築物の省エネルギー化の推進に取り組む。</p> <p>・行政、団体、企業等による緑化活動を推進する。</p> <p>・気温の上昇抑制等に効果がある緑地・水面の減少、建築物や舗装等によって地表面が覆われることによる地表面の高温暖化を防ぐため、地表面被覆の改善を図る。</p> <p>・道路・公共空間の特化の绿化化を推進する。</p>

※ **青文字**:県で取組は実施していないが、国の影響評価及び適応計画を基に重要なと思われる細目について参考に記載

※ ○:本県において施策が実施されている細目

※ ◎:本県において施策が実施されており、特に重要なと思われる細目

※ 黄色網掛けは、現行計画から追加・変更した内容

## 新旧対照表

(新) 改定版・素案(パブリックコメント用)					(旧) 現行計画						
項目	細目	国による影響評価(適応計画R5)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策	項目	細目	国による影響評価(2020年)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策
1 基盤的 施策	地方公共団体の気候変動適応にに関する施策の促進	重大性:- 緊急性:- 確信度:-	○	【将来の影響】 ・気候変動により、①農業・林業・水産業②水環境・水資源③自然生態系④自然災害⑤健康などの各分野に将来的に様々な影響を及ぼす可能性がある。  ・沖縄県気候変動適応計画を策定し、適応策の重要性を示すとともに、①農業・林業・水産業②水環境・水資源③自然生態系④自然災害⑤健康などの各分野に将来的に様々な影響を及ぼす可能性がある。		2 基盤的 施策	地方公共団体の気候変動適応に関する施策の促進	重大性:- 緊急性:- 確信度:-	○	・気候変動により、①農業・林業・水産業②水環境・水資源③自然生態系④自然災害⑤健康などの各分野に将来的に様々な影響を及ぼす可能性があります。  ・沖縄県気候変動適応計画を策定し、適応策の重要性を示すとともに、①農業・林業・水産業②水環境・水資源③自然生態系④自然災害⑤健康などの各分野に将来的に様々な影響を及ぼす可能性があります。	
	環境影響評価制度の推進	重大性:- 緊急性:- 確信度:-	○	【将来の影響】 ・赤土等流出防止に係る予測等において、気候変動を考慮した調査・予測・評価及び環境保全指標の検討を行う必要性が高くなっている。	・気候変動を考慮した環境影響評価の推進に取り組む。		環境影響評価制度の推進	重大性:- 緊急性:- 確信度:-	○	・赤土等流出防止に係る予測等において、気候変動を考慮した調査・予測・評価及び環境保全指標の検討を行う必要性が高くなっています。  ・気候変動を考慮した環境影響評価の手法について検討を行っていきます。	